

## ☆農村女性のつどいを開催しました。

平成25年2月20日、佐久農村女性のつどいを開催しました。佐久農業改良普及センターと佐久農村女性団体連携会議（以下「連携会議」）の主催によるもので、管内の農村女性150名が参加しました。

連携会議とは、管内の農村女性6団体（長野県農村生活マイスター協会佐久支部、農村女性ネットワーク佐久平、長野県女性農業委員の会佐久支部、JA佐久浅間女性会、JA長野八ヶ岳女性部、株式会社ヤツレン酪農協議会女性部）により構成され、本年度発足したものです。

各団体の活動等の情報交換をすることを目的に「農村女性が取り組む地域活動について」をテーマに各団体の事例発表を行いました。また、本年度、農村女性団体が主体となって策定した、平成25年度から5ヵ年を目標期間とする「長野県農村女性チャレンジプラン」の発表も行い、農村女性の活動方向を皆で確認しました。

まず、JA女性会の自主活動グループ「銭太鼓」の演奏で始まりました。農作業の合間をぬって練習してきた手さばきでならず勢いのある音色で会場を盛り上げました。ヤツレン酪農女性部からは、酪農家の一日の紹介を、マイスター協会からは、花ももで地域づくりを行った事例を、ネットワークからは、起業活動として味噌づくりを行い、地域特産品開発につなげた事例を紹介しました。女性農業委員の会では、農業委員の役割として、農地パトロールや農業者年金への加入のすすめ等を行いました。

また、佐久市農村生活マイスターの会として、本年度一年間かけて行ってきた、郷土料理レシピ本「母から子へ孫へ伝える佐久の味」の発表と玉村豊男氏による「郷土料理による豊かな食生活」と題しての講演が行われました。

その他、農村女性の手作りによる加工品や農産物、ドライフラワーや手芸品等の展示販売も行われました。また、市町村のゆるキャラも登場し、地域PRを行い、会場を楽しませました。

参加者からは、酪農家の現状がわかった、各団体、地域の活動を知ることができて良かった、レシピ本にある郷土料理を早速作ってみたい、かわいいゆるキャラと触れ合って、写真撮影をしたかったなどの感想が聞かれました。

管内の農村女性団体が一堂に会してのつどいとして、毎年続けていく予定です。



オープニングセレモニー JA 佐久浅間女性会  
自主グループ「銭太鼓」の演奏



主催者「連携会議」代表：柏木マイスター支部長  
あいさつ



ネットワーク井出由美子さん「東春睦会の活動」



玉村豊男氏による講演「郷土料理で豊かな食生活」